

生活文化スポーツ部長 八角 千里  
産業振興担当部長 徳永 孝正  
生活文化スポーツ部参事（多様性社会・男女共同参画推進担当） 高松 春美



◆部長職からひとこと

生活文化スポーツ部長 八角 千里



生活文化スポーツ部は、多様な主体との連携・協働により、「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に連なる取組を多面的に展開し、市民交流や地域活動の支援を通じて、市民生活の質の向上や地域の活性化に取り組んでいます。

コロナ禍以降は、各事業やイベント等の実施において影響を受ける中でも、昨年の後半からは、従前に近い内容や規模で実施できるようになり、調布のまちに明るい兆しを感じられるようになりました。

令和5年度は、新たな総合計画の初年度として、各分野の計画に位置付けた取組について、社会環境の変化に適切に対応しつつ、まちに活気や賑わいがもたらされるよう、諸施策の着実な推進と実効性向上に取り組めます。

各取組の推進に当たっては、「パラハートちょうふ」の理念に基づく共生社会の充実に向けた取組をはじめ、ラグビーワールドカップや東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたまちづくりへの多面的効果をレガシーとして継承・発展させていくため、多彩な地域資源を活用した取組の展開や、これまで培ってきた多様な主体とのつながりを生かしながら、共創のまちづくりに取り組めます。

産業振興担当部長 徳永 孝正



今年度は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類相当から5類に移行されることからコロナ禍以前の事業展開が可能となることが考えられます。このことが日常生活に及ぼす影響については慎重に推移を見守りつつ、地域経済の活性化を目的に「集客」、「回遊」、「消費」の好循環サイクルが円滑に図られることを意識して、調布ならではの魅力にあふれ、活気に満ちたまちとなるよう、新たな基本計画に位置付けた施策の推進につながる取組を多様な主体との連携により積極的に推進します。

農業振興においては、「未来に残す東京の農地プロジェクト」の活用や「マルシェ ドゥ 調布」の開催など、農業振興計画の着実な推進に向け、関係機関や団体との連携を図って参ります。

他方、今なおコロナ禍や物価高騰の影響を受ける市内事業者・農業者の支援については、各種会議体での議論や国・東京都の動向などを踏まえ、市の実情に即した適時適切な対応を引き続き図ります。

生活文化スポーツ部参事（多様性社会・男女共同参画推進担当） 高松 春美



令和5年2月、調布市においても市独自のパートナーシップ宣誓制度をスタートしました。

今年度は、この制度も含めて多様な性についての対応の啓発や新たにLGBTQに係る相談事業にも取り組むとともに、男女共同参画推進フォーラム「しえいくはんず」については、コロナ前の賑わいを意識して、より多くの市民にご参加いただき、男女共同参画や多様性を認め合う共生社会について考える機会とします。

市民プラザあくろすについては、4月から変更となった指定管理者と共に、施設環境の整備、市民サービスの向上に努めます。

◆職員数

正規職員 61人（うち管理職 14人）

◆予算（当初）

一般会計

歳入

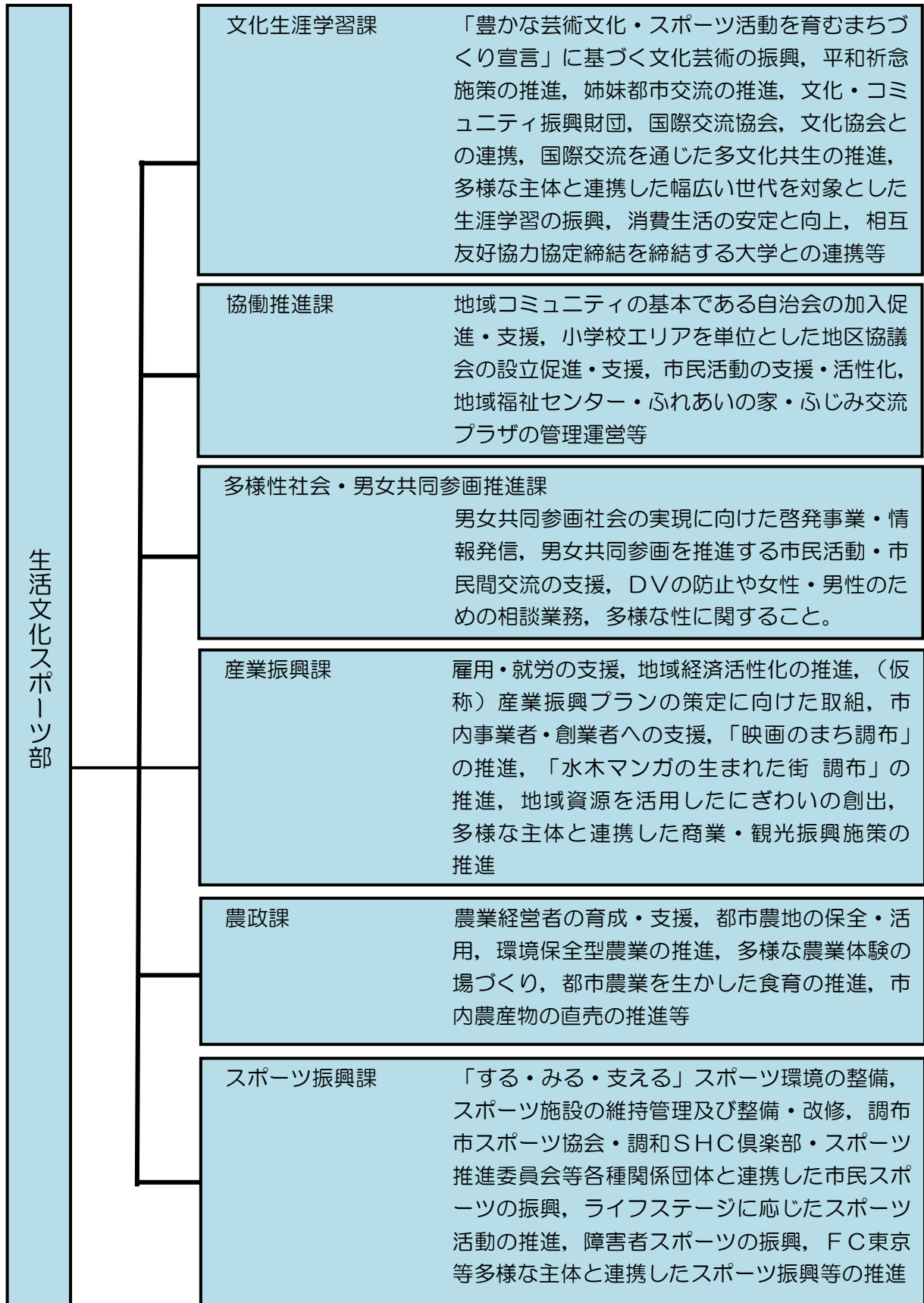
1億7915万4000円

歳出

32億2928万2000円

（職員人件費を除く）

◆組織体系図



## ◆生活文化スポーツ部の現状と課題

### <現状>

- 生活文化スポーツ部は、調布市基本計画に基づき、公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団や公益社団法人調布市スポーツ協会、国際交流協会、文化協会、商工会、観光協会等の各団体と手を携えて、市民が健康で明るく活力に満ちた生活ができるよう市民生活に結びつく施策を推進しています。
- 各課が所管している文化施設やコミュニティ施設、スポーツ施設など40を超える公共施設について、市民が安全に安心して利用できるよう施設管理に取り組んでいます。
- コロナ禍での公共施設の管理においては、文化・コミュニティ・スポーツ活動を含む社会経済活動の再活性化に向けて、各施設の状況や特性に応じて、感染拡大防止策を講じながら適切な管理運営に努めています。
- 令和2年から引き続く世界的に蔓延した新型コロナウイルスの影響を受け、この3年余りは多くの事業・イベントが中止となる中で、オンラインの活用等創意工夫を重ねながら、多様な主体と連携し、各種事業に取り組んできました。令和4年度からは行動制限の緩和などにより、まちの賑わいが戻りつつある中で、コロナ禍で中止や縮小を余儀なくされていた多くの事業を再開することができ、調布のまちに明るい兆しを感じられるようになっていきます。
- 誰もが生き生きと自分らしく暮らすことができる共生社会の充実に向け、令和5年2月に「男女共同参画推進課」の名称を「多様性社会・男女共同参画推進課」に改め、多様な性における理解促進に取り組むこととしています。その具体的施策として、多様な性の当事者の生活上の困難の解消のため、令和5年2月から市独自のパートナーシップ宣誓制度を創設しました。

### <課題>

- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとして、とりわけ「パラハートちょうふ〜つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち」を全庁のキャッチフレーズとして進めてきた共生社会の充実につなげる取組について、大会を契機に構築してきたパートナーシップや庁内横断的な連携の下、各種取組を継承・発展させ、誰もが自分らしく幸せを感じながら暮らせるまちを目指し、多分野にわたる取組を展開する必要があります。
- 指定管理者制度を導入している文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場、総合体育館、各ふれあいの家、市民プラザあくろすについては、市民ニーズに適切に対応するとともに、効果的、効率的に制度を活用できるよう評価・検証していくことが必要です。
- 施設の管理運営に当たっては、施設・設備の経年劣化やバリアフリーへの対応など、公共施設マネジメント計画に基づき、計画的な維持保全に取り組むとともに、利用者の声や地域の特性を踏まえた施設の利用環境を向上していく必要があります。
- コロナ禍への今後の対応として、本年5月8日から新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが2類相当から5類に移行されることを踏まえ、身体的には細心の注意を心掛けつつ、市民や事業者等のニーズを的確に捉えながら、市内の活気や賑わいを創出する文化芸術・スポーツ・観光をはじめとする各種取組を効果的に展開していく必要があります。
- 新型コロナウイルス感染症や物価高騰による市内事業者の経営への影響は継続して生じているため、国や東京都の動向を注視しつつ、引き続き、商工会をはじめとする関係団体との一層の連携を図りながら、市の実情に即した市内事業者の支援、市内消費喚起に機動的に取り組んでいく必要があります。
- 多様性を認め合う共生社会の充実に向け、これまでの女性支援に係る各種相談に加え、令和4年度に新たに実施した男性相談を継続して取り組む必要があります。また、市独自のパートナーシップ宣誓制度を契機として、多様な性における理解促進に向けた取組をはじめ、多様な性の当事者の生活上の困難の解消が図られるよう、取り組む必要があります。

## ◆生活文化スポーツ部経営方針

### ・計画の着実な推進と多様な主体との効果的な連携

令和5年度は、新たな総合計画の初年度として、文化芸術振興・生涯学習・コミュニティ・男女共同参画・産業振興・農業振興・スポーツ振興の各分野における施策・事業について、市民や関係団体をはじめとする多様な主体との連携の下、社会環境の変化に適切に対応しながら、諸施策の着実な推進と実効性向上に取り組みます。

基本計画に掲げる11の施策及び23の基本計画事業を着実に推進するとともに、「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づく取組を多面的に推進し、組織横断的な連携を図りながら、市民主体の文化芸術・スポーツの振興、調布のまちの魅力の向上・発信に取り組みます。

### ・指定管理者制度の活用

文化会館たづくり、グリーンホール、せんがわ劇場、総合体育館、各ふれあいの家、市民プラザあくろすについて、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業実施につながるよう、指定管理者の指導監督に努めます。また、監理団体を対象に実施した第三者評価や各指定管理施設のモニタリング評価等を通じて、市民サービスの維持・向上を図っていくとともに、ふれあいの家及びせんがわ劇場については、令和6年度における指定管理者の指定に関する取組を進めていきます。

### ・老朽化等を踏まえた適切な施設管理

所管する文化、スポーツ、コミュニティ施設などの公共施設については、各施設を取り巻く状況を踏まえ、利用者が安全で快適に施設を利用いただけるよう、経費削減に向けた工夫なども考慮しつつ、計画的な維持保全・改修に取り組み、公共施設マネジメントの推進に取り組んでいきます。

### ・新型コロナウイルス感染症に伴う今後の対応

引き続き、市民の安全確保を第一として、各施設の状況や特性に応じて、基本的な感染対策に留意しつつ、各施設の適切な管理運営を図ります。

地域経済対策については、中小企業事業資金融資あっせん制度の拡充を継続するとともに、国や東京都の対策のほか、地域経済対策会議における議論を踏まえ、引き続き商工会をはじめとする関係団体との一層の連携を図りながら、必要な対策を迅速かつ的確に対応していきます。

令和4年度は行動制限が緩和されたことなどにより、長引くコロナ禍で中止や縮小を余儀なくされていた多くの事業が再開され、まちの賑わいが戻りつつあります。令和5年度においても、身体的には細心の注意を心掛けつつ、コロナ禍の終息後を見据え、関係機関や関係団体、事業者など、多様な主体との連携をより一層強化し、各施策の推進につなげていきます。

### ・災害時における危機管理に関する対応

令和元年台風第19号での教訓を生かし、監理団体との災害時における協定を実践的なものとするため、平時からの連携や避難所開設訓練を通じて、避難所としての体制整備を図り、危機管理及び防災・減災に向けた対策に取り組みます。

災害時における被災状況の的確な把握、災害発生から復旧・事業再開に至るまでの市民への効果的な情報提供等について、庁内関連部署や各関係団体と連携した取組を推進します。あわせて、市内に在住する外国人への災害時における支援について、国際交流協会をはじめ庁内関連部署と連携を図りながら効果的な対応を検討します。

### ・多様性社会・男女共同参画推進

男女共同参画や女性活躍の推進に加え、誰もが生き生きと自分らしく暮らすことができる共生社会の充実に向け、多様な性における諸課題を踏まえ、市民の理解促進に向けた啓発をはじめ、多様な性の当事者の生活上の困難の解消に取り組みます。

◆令和5年度における主な事業・イベントの予定

	主なイベント・事業	日程（予定）
第1四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光フェスティバル（観光協会・産業振興課）</li> <li>○FC東京「調布の日」・青赤ストリート（スポーツ振興課・観光協会）</li> <li>○第2回車いすバスケットボールChofuエキシビジョン マッチinむさプラ2023（スポーツ振興課）</li> <li>○男女共同参画推進フォーラム（多様性・男女共同）</li> <li>○マルシェ・ドウ・調布（農政課）</li> <li>○調布国際音楽祭2023（財団・文化生涯学習課）</li> </ul>	5月13日（土）・14日（日） 6月 3日（土）  6月18日（日） 6月24日（土）・6月25日（日） 6月24日（土）・6月25日（日） 6月24日（土）～7月2日（日）
第2四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広島平和派遣（文化生涯学習課）</li> <li>○読売巨人軍 調布市フェスタ（スポーツ振興課）</li> <li>○パラアート展2023（文化生涯学習課）</li> <li>○平和展（文化生涯学習課）</li> <li>○調布よさこい（財団・文化生涯学習課）</li> <li>○調布花火2023（花火実行委員会※・産業振興課）</li> </ul>	7月31日（月）～8月2日（水）※派遣日 8月11日（金・祝） 8月22日（木）～8月27日（日） 8月22日（木）～8月27日（日） 8月26日（土） 9月頃検討 ※5月下旬発足予定
第3四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ラグビーワールドカップPV（スポーツ振興課）</li> <li>○調布市商工まつり（商工会・産業振興課）</li> <li>○調布市民スポーツまつり（スポーツ振興課、スポーツ協会）</li> <li>○調布市民文化祭（財団・文化生涯学習課） 文化フェスタ</li> <li>○外国人専門家相談会（CIFA・文化生涯学習課）</li> <li>○青赤ストリート（スポーツ振興課）</li> <li>○パープルリボンプロジェクトinちようふ（多様性社会・男女共同参画推進課）</li> <li>○調布市農業まつり（農政課）</li> <li>○サウジアラビア文化展（文化生涯学習課）</li> <li>○ゲゲゲ忌2023（産業振興課）</li> <li>○多摩ロードレース（東京都主催・スポーツ振興課）</li> <li>○国際理解講座2023（CIFA・財団・文化生涯学習課）</li> <li>○障害者スポーツ体験会（スポーツ振興課）</li> <li>○ラグビーリーグワン関連3市連携事業（スポーツ振興課）</li> <li>○マルシェ・ドウ・調布（農政課）</li> </ul>	10月 8日（日） 10月 8日（日）・ 9日（月・祝） 10月 9日（月・祝） 10月12日（木）～11月13日（月） 10月14日（土）・15日（日） 10月14日（土） 10月28日（土）又は29日（日） 11月 1日（水）～11月30日（木） 11月18日（土）・19日（日） 11月18日（土）～11月23日（木） 11月18日（土）～11月30日（木） 12月 3日（日） 12月 9日（土）予定 12月17日（日） 12月頃 ※調整中 ※調整中
第4四半期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京都市町村ポッチャ大会（スポーツ振興課）</li> <li>○調布市民駅伝競走大会（スポーツ振興課、スポーツ協会）</li> <li>○シネマフェスティバル（財団・文化生涯学習課・産業振興課）</li> <li>○調布市小学生ドッジビー大会（スポーツ振興課）</li> <li>○NTT東日本バドミントン部地域感謝祭（スポーツ振興課）</li> <li>○調布まち活フェスタ（協働推進課）</li> </ul>	令和6年1月27日（土） 令和6年1月28日（日） 令和6年1月26日（金）～2月18日（日） 令和6年2月12日（月・祝） 令和6年3月20日（水・祝） 令和6年3月頃

## ◆基本計画に掲げる施策推進及び成果向上に向けた『4つの視点』に基づく主な取組

### 【デジタル技術の活用】

- ・文化財の保存や展示機会の充実の観点から、資料のデジタル保存や映像配信などの多様な鑑賞機会の提供に取り組むとともに、メディアアートの更なる振興など、デジタル技術を活用した事業展開を検討・推進します。
- ・平和や国際交流に関する資料の保存や展示機会の充実の観点から、資料のデジタル保存や、映像配信等のデジタル技術を活用した事業展開について検討します。
- ・地域福祉センターをはじめとするコミュニティ施設の使用申込のオンライン化を推進し、市民の利便性向上を図るとともに、効果的・効率的な管理運営に取り組みます。
- ・スポーツ施設において、キャッシュレス決済の導入を検討し、利便性の向上に取り組みます。

### 【共創のまちづくり】

#### 〈文化芸術〉

- ・文化・コミュニティ振興財団との連携により、多彩な文化芸術の振興はもとより、文化芸術を通じた共生社会の充実に向けた取組、国際交流や多文化共生分野における取組のより一層の充実を図ります。

#### 〈平和〉

- ・多角的な発信力を持つFC東京などとの連携により平和祈念事業を推進し、より広く市民が戦争・平和について関心を持ち、取組に参加する機会を提供するよう努めます。
- ・水木プロダクションとの連携により、名誉市民水木しげる氏の遺した作品を通じて、戦争の悲惨さや平和の尊さを発信します。

#### 〈大学連携〉

- ・特色を生かした市民向け公開講座を開催する相互友好協力協定の締結大学等の多様な主体との連携により、多彩な生涯学習に取り組む機会を創出します。

#### 〈地域コミュニティ〉

- ・自治会や地区協議会など、コミュニティ団体への支援を通じて、市民交流の促進や地域コミュニティの醸成を図ります。

#### 〈男女共同参画〉

- ・市民による実行委員会や参加団体との協働により、男女共同参画推進フォーラム「しえいくはんず」を開催し、男女共同参画の意識の啓発や情報発信に取り組めます。

#### 〈都市農地〉

- ・市民農園や農業体験ファームなど、市民が農と触れあう機会を創出し、農のある地域づくりを推進します。
- ・市内農家やマインズ農業協同組合などとの連携による「マルシェ ドゥ 調布」の開催など、多様な主体と連携し、市内農産物の直売の促進やPRに取り組めます。

#### 〈スポーツ〉

- ・FC東京をはじめとするプロスポーツチームなどの様々な主体と連携し、市民がスポーツを「する・みる・ささえる」機会を充実させ、スポーツに親しめるよう、市民スポーツの振興に取り組めます。

#### 〈創業支援〉

- ・中小企業等支援に関する包括協定を締結する金融機関等との連携により、中小企業等に対する支援・相談体制の充実を図ります。

#### 〈観光〉

- ・調布市観光協会のほか、深大寺、映画・映像関連企業、水木プロダクション等と連携し、調布のまちの魅力を高める取組を検討・推進します。

### 【脱炭素社会の実現】

- ・関係団体との連携の下に実施しているフードドライブや、消費者講座を通じた食品ロス削減に向けた啓発など、食料資源の有効活用や地球温暖化対策の推進に取り組みます。
- ・脱炭素社会実現の重要性やそのための取組を広く市民に周知し、市民一人一人が脱炭素社会の実現について考え、行動できるよう、出前講座などによる環境学習の機会の充実を図ります。
- ・設備改修・修繕と併せて、照明設備のLED化など文化施設やコミュニティ施設、スポーツ施設の省エネ化を推進します。
- ・商店街の街路灯のLED化に対する支援を通じて、脱炭素社会の実現を目指します。
- ・CO<sub>2</sub>排出量が少ない環境にやさしい移動手段として、シェアサイクルの普及啓発に取り組みとともに、シェアサイクルを含む自転車を利用した市内回遊の促進に取り組みます。

### 【フェーズフリー】

- ・文化・コミュニティ振興財団や調布市スポーツ協会、市民サービス公社と締結した災害時協力協定・覚書に基づく災害時の施設活用における検討を進めます。
- ・公共施設の設備や備蓄品の活用に当たっては、フェーズフリーの視点を踏まえた取組を進めます。
- ・出前講座等を通じて、フェーズフリーについて学ぶ機会を支援します。
- ・災害時協力協定に基づく災害時のスポーツ施設の活用に向け、指定管理者等と連携して取り組みます。
- ・調布市観光協会と連携し、テントなどのイベント用機材・備品類を、災害時にも避難所等で活用できるよう、体制整備や対応マニュアルの策定等に取り組みます。

## ◆各課の基本的な目標・方針等

### 文化生涯学習課

#### ・「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づく文化芸術の振興

「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」に基づき、文化協会をはじめとする市民団体や文化・コミュニティ振興財団など、多様な主体との連携により、市民ニーズを捉えた多彩な文化芸術事業を実施するとともに、年齢や国籍、障害の有無に関わらない鑑賞及び事業参加の機会の充実など、市民が身近に文化芸術に触れることのできる機会の創出に取り組みます。

パラリンピック開催を契機として、全庁で取り組んでいる共生社会の充実に向け、障害者の文化芸術の振興を図るため、調布市福祉作業所等連絡会や民間事業者を含む関連団体との連携の下、平成29年度から継続している「パラアート展」について、より多くの市民が関わることのできるインクルーシブな視点を持った取組の検討・推進を図ります。

これまで実施してきた文化芸術振興の取組を体系的に整理するとともに、関連分野との連携について計画上位置付けることで、効果的・効率的な施策の推進を図るため、文化芸術基本法及び障害者による文化芸術活動の推進に関する法律に基づく計画として、令和6年度の(仮称)調布市文化芸術振興ビジョンの策定に向けた取組を進めます。

#### ・平和祈念施策・国際交流の推進

幅広い年代の市民に平和について考える機会を創出するため、各種平和祈念事業を実施します。

令和5年度は、調布市議会による非核平和都市宣言から40年の節目となります。戦争の記憶や平和の尊さを次世代へと着実に伝え続けていくため、被爆地への平和派遣を通じたピースメッセンジャーの学びの成果や平和への想いを広く市民へ伝えることができるよう取り組みとともに、これまで派遣事業に参加した子どもたちが、継続的に平和への想いを発信できるよう、派遣後の活躍の場づくりに取り組みます。

また、世界平和の礎となる国際交流の推進においては、国際交流協会との連携の下、外国人専門家相談会の継続的な実施や、「やさしい日本語」の活用促進に向けた職員向け研修の地域への拡大のほか、世界情勢に目を向け、多様な文化への理解を深めるとともに、改めて平和について考えるきっかけとするための国際理解講座を実施します。あわせて、これら多文化共生のまちづくりに向けた様々な取組を安定的かつ発展的に実施していくため、国際交流協会の組織体制の見直しに取り組みます。

#### ● 姉妹都市長野県木島平村との交流

より多くの市民に姉妹都市木島平村の魅力を伝えるとともに、平和交流をはじめ、子どもから大人まで幅広く、市民と村民が様々な分野で交流を図ることができるよう取り組みます。

#### ● 生涯学習の振興

“人生100年時代”を見据えた生涯学習の振興を図るため、幅広い年代に向けた多様な分野における学びのきっかけづくりや、一人一人が、性別や国籍、障害の有無等に関わらず、それぞれの興味・関心や生活スタイルに応じて学習し、その成果をまちづくりに生かすことのできる場の確保や活動の支援に取り組みます。

生涯学習まちづくり推進員による生涯学習情報コーナーにおける情報提供・相談事業のほか、地域での各種イベント等との連携を図りながら積極的なアウトリーチに取り組むとともに、調布FMやSNS等の活用など、創意工夫を重ねながら、より広く必要な情報を届けることができるよう情報発信に取り組みます。

#### ● 相互友好協力協定を締結する大学との連携

文化、教育、学術、スポーツなどの分野で協力し、相互発展を図ることを目的とした協力協定を締結している7大学（市内4校、市外3校）と継続して連携を図りながら、各大学の特色を生かした魅力の発信とともに、各大学が開催する市民を対象とした公開講座を通じた生涯学習の振興に取り組みます。

#### ● 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団と連携した文化施設の運営

文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場は、指定管理者として文化・コミュニティ振興財団が管理・運営を行っていることを生かし、各施設の特徴を踏まえた事業展開はもとより、3館の連携による効果的な事業の推進に取り組みます。また、施設の適切な維持保全による安全・安心な施設運営を基本とした魅力ある事業展開の視点から、指定管理者の指導監理に努めるとともに、せんがわ劇場においては、次期指定管理者候補者の選定に向けた取組を進めます。

グリーンホールの建替えに向けて、公民連携手法を活用した整備手法を多角的に検討し、調布駅前に向する立地特性を生かしたまちの魅力を高める施設となるよう、施設利用団体はもとより、広く市民と情報共有・意見交換を実施しながら、ホール機能や規模、配置等の検討を進めます。

#### ● 消費生活の安定と向上

消費者を取り巻く社会環境や生活スタイルが変化する中、消費者トラブルも複雑化・多様化しています。調布市消費生活センターでは、多岐にわたる消費生活相談に適切に対応するため、専門相談員が解決に向けた助言、あっせん等を行っています。

民法改正に伴い、令和4年4月に、成年年齢が引き下げられたことを踏まえ、消費者教育推進法に基づく若年層への啓発に取り組むとともに、出前授業や消費者講座を開催するほか、様々なイベント等の機会を捉え、組織横断的に連携を図りながら啓発事業の充実に取り組みます。

引き続き安全・安心な消費生活を送ることができるよう、若者から高齢者まで幅広い年代へ向けて、市報への定期的なコラム掲載や市公式SNS、調布エフエムなどを活用した情報発信、消費啓発の冊子「生活ひとくちメモ」の配布など、様々な媒体や手法を活用し、トラブル防止に向けた各種啓発事業に取り組みます。



## 協働推進課

### ・地域コミュニティの活性化に向けた支援

自治会を含む市民活動団体の活性化に向けて、実効性のある支援策を検討・実施するとともに、地域の主体性を尊重しながら、地域の市民や団体をネットワークで結ぶ地区協議会の全小中学校区の設立を目指します。また、令和元年台風第19号の教訓を踏まえ、災害時の情報連携が図れるよう、既設の地区協議会を含めた地域間の情報共有に向けた体制づくりに取り組みます。

### ・地域コミュニティ活動拠点の充実

施設の一層のバリアフリー化を推進するため、深大寺地域福祉センターのエレベーター設置工事設計をはじめ、地域福祉センター及びふれあいの家の機能改善に向けた改修工事など、利用者が安心・安全に利用できるよう施設整備に取り組みます。

地域福祉センターについては、令和5年秋の予約システムの導入に向けて、システム開発を行うとともに、既設のAEDを屋外型に変更することで、緊急時に誰でも利用できるよう配備します。また、ふれあいの家については、利便性向上の取組として、電子錠によるスマートロックを導入するほか、ふじみ交流プラザの運営については、地域交流の促進や地域の賑わいの創出などに資するコミュニティ施設として、利用促進に向けた取組を推進します。

### ・地域コミュニティへの参加の推進

地域活動に参加しやすい環境づくりを推進するため、地域活動情報紙「じょいなす」や地域コミュニティサイト「ちょみっと」を活用した効果的な情報発信を行うとともに、えんがわフェスタ、まち活フェスタ等のイベントの開催を通じて、市民の地域活動への参加促進に取り組みます。また、市民活動支援センターでは、市民活動における中間支援組織として、多様な市民活動団体の支援を行うことで、市民・地域が主体となった、まちづくり活動の活性化を推進します。

## 多様性社会・男女共同参画推進課

### ・第5次調布市男女共同参画推進プランに基づく取組の推進

男女共同参画を取り巻く社会環境の変化等を踏まえ策定した第5次調布市男女共同参画推進プランに基づき、人権と多様性の尊重、配偶者等からの暴力の根絶、ワーク・ライフ・バランスの実現と働く場における女性活躍の推進、あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進に向け、プランに位置付けた各取組の着実な推進を図ります。

### ・配偶者暴力及びデートDVの防止及び被害者支援

親密な関係にあるパートナーからの暴力を未然に防止するため、副市長を会長とする調布市配偶者暴力防止等対策ネットワーク会議において調布警察署、東京三弁護士会多摩支部、東京都女性相談センター多摩支所等の関係機関との連携を図るとともに、児童虐待防止のキャンペーンと共同して啓発事業を実施するなど、あらゆる暴力の根絶に向け、組織横断的に取組を推進します。また、市立中学校の生徒を対象として、デートDV防止についての出前講座を継続して実施します。

### ・男女共同参画推進センターにおける相談事業の実施

相談事業において、女性を対象とした「生き方」、「働く女性の人生」、「法律」、「健康」、「仕事」についての来所相談及び電話相談に加え、男性のための相談を継続して実施します。また、参加者が共通のテーマで話すことで悩みを解決する糸口を見つけるグループ相談(ほっとサロン・しゃいくはんず)を実施します。

### ・啓発事業の実施と情報の発信

「大切な人とやってみよう！気持ちいいチーム作り」をテーマに、市民で組織する実行委員会と共同で男女共同参画推進フォーラムを実施し、市民交流を推進します。

また、コロナ禍で顕在化した生活不安・ストレスなどに起因する配偶者等からのDVの深刻

化が懸念される状況を踏まえ、男女共同参画に向けた様々な講座・展示等により啓発を行うとともに、社会状況を捉えたテーマの講座、講演会等をそれぞれの対象に合わせた開催時間、場所、オンラインの活用、保育などに配慮して実施します。

#### • 女性活躍推進法への対応

女性の職業生活における活躍の推進に関する取組が効果的かつ円滑に実施されるよう、女性活躍推進法に基づく協議会である男女共同参画推進センター運営委員会において協議し、第5次調布市男女共同参画推進プランに位置付けた女性の活躍推進に関する事業の推進を図ります。あわせて、引き続き、庁内における審議会・委員会の女性参画率の向上に取り組みます。

#### • 多様性社会の推進

多様性を認め合う共生社会の充実に向け、東京都の制度と連携しながら、市独自のパートナーシップ宣誓制度を活用し、多様な性における人権の尊重と理解促進を図って参ります。

また、令和5年度は、新たにLGBT相談を実施します。

#### • 市民プラザあくろすの管理・運営

開館から18年が経過する市民プラザあくろすの施設老朽化に迅速に対応するため、指定管理者と連携・協力し、安全・安心の施設運営に努めるとともに、施設を活用した指定管理者による自主事業の実施促進を図るほか、活動団体による作品の展示、季節にちなんだ装飾等により、市民に親しまれる施設運営を推進します。

### 産業振興課

#### • 地域経済の再活性化（事業者支援）

新型コロナウイルス感染症に加えて、物価高騰の影響を受けた中小企業・小規模事業者を対象とする相談窓口や、調布市中小企業事業資金融資あっせん制度の拡充を継続し、信用保証料の全額補助及び全額利子補給（当初3年間）を行うとともに、国のセーフティネット保証制度への適切な誘導など、中小企業・小規模事業者を支援します。加えて、国、東京都及び他自治体の動向を注視し、借換制度の導入についても検討します。

商工会と連携し、物価高騰対策支援事業を令和4年度に引き続き実施します。また、消費喚起策として、キャッシュレス決済ポイント還元事業に取り組み、市内事業者におけるキャッシュレス決済の導入を促進します。

#### • 商業活性化に向けた商工会や商店会への支援

商工会が実施する市内産業の振興に資する市内事業者・商店会への支援事業や、市内消費喚起事業等を支援し、商業活性化に向けて連携して取り組みます。

また、商店会等が実施するイベント事業を支援し、にぎわいの創出や個店の魅力向上につなげるほか、商店街の施設整備や街路灯に係る電気料金に対する補助により、商店街の老朽化対策や商店会活動費用の負担軽減を図ることで、商店街の存続につなげていきます。

#### • （仮称）産業振興プランの策定

市内の実情を把握するための基礎調査の実施や、商工会や金融機関等との連携による市内事業者及び商店会へのヒアリングに取り組むことで、市内事業所の経営状況や市民の消費行動の把握に努め、社会情勢や地域経済対策会議での議論も踏まえながら、地域経済活性化の取組の指針となる（仮称）産業振興プランについて、令和6年度の策定に向けた取組を進めます。

#### • 調布花火2023の開催

令和5年度は4年ぶりの開催を見据え、国や東京都をはじめ、他自治体の動向を注視し、市内外から来場される多くの方の安全・安心を第一とした調布花火の開催に向け、職員が一丸となって取り組みます。

開催に当たっては、人件費や物価の高騰、自主警備体制の強化により、4年前と比較して費用の増加が見込まれるため、有料席の種類・金額の見直しや協賛金の獲得に向けた取組を積極的に行うなど、効果的な財源確保に努めます。

### ● 「映画のまち調布」の推進

映画・映像を「つくる」、「楽しむ」、「学ぶ」をテーマに、市内の映画・映像関連企業や市民団体と連携した取組を推進し、広く市民に“映画”に親しんでいただくとともに、積極的なロケ支援の実施により、市内における撮影実績の増加につなげ、ロケツーリズムを推進することで、「映画のまち調布」のPRや地域経済の活性化を図ります。

特に、ロケツーリズムの推進に向けた新たな取組として、映画「花束みたいな恋をした」が中国・台湾で人気を博していることから、インバウンド需要を見込んだ多言語版のロケ地マップの作成のほか、ロケ地への来訪者の回遊性向上による地域経済の活性化を目的としたグルメマップを作成します。

### ● 「水木マンガの生まれた街 調布」の推進

「水木しげる氏生誕100周年記念プロジェクト」を契機として、「水木マンガの生まれた街 調布」の更なる推進につなげるため、新たな事業展開や水木氏の作品に触れる機会の創出に注力することで、子どもから大人まで幅広い世代に興味を持ってもらい、認知度向上による新たなファン層の獲得を図ります。

また、名誉市民・水木しげる氏の作品や世界観を後世に伝えつつ、まちづくりに生かす取組について、(株)水木プロダクションをはじめとする関連企業等と連携して展開します。

加えて、令和3年度に、水木プロダクションから、市の所有地を活用した「(仮称)水木しげるミュージアム」の建設についての要望書が提出されたことを踏まえ、水木プロダクションをはじめとする多様な主体と連携しながら、水木作品を活用したまちづくりに向けて、深大寺老人憩の家跡地を活用した取組を検討・推進していきます。

### ● 雇用・就労の支援

個々のライフステージに応じた切れ目ない雇用・就労を支援するため、調布国領しごと情報広場において、ハローワーク府中と連携した様々な求人情報の提供や職業相談、職業紹介、就労支援セミナーを実施するほか、地域活性化包括連携協定の活用や若者、高齢者、女性及び障害者の関係機関・関係部署と連携を図ります。

また、「ちょうふ若者サポートステーション」においても、関係機関・関連部署と連携を図り、仕事に対する不安や悩みを抱えている若者の職業的自立・就労を支援します。

### ● 市内事業所への経営支援・新たな創業への支援

市内の中小企業・小規模事業者の振興と地域経済の活性化を図るため、地域金融機関などの民間ノウハウを積極的に活用した経営相談や各種セミナーの開催、販路拡大のための見本市等の出展、事業承継について、商工会及び関係機関と連携して支援します。

市内での新たな創業を促進し、地域経済の活性化につなげるため、産業労働支援センターでは、専門の相談員による創業相談や創業セミナー・講演会、女性及びシニア向けのセミナー、スモールオフィスの貸出し、空き店舗等を活用した創業チャレンジ支援事業などを実施します。

また、商工会と連携し、多摩川流域自治体の基礎情報と業種別の企業情報が一体となった共通情報データベースを構築することで、技術提携・販路拡大や新たな創業の支援につなげます。

## 農政課

### ● 計画的な都市農業の振興

調布市農業振興計画に基づき、都市農業をめぐる社会情勢の変化を踏まえ、市の農業振興に関する具体的な取組を総合的かつ計画的に推進します。

### ● 農業経営の支援

認定農業者などの農業経営に意欲ある農業者が農業を継続できるよう、引き続き、都市農業育成対策事業による支援に加え、「未来に残す東京の農地プロジェクト」による農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援します。

### ・環境保全型農業の推進

市民ニーズの高い安全・安心な農産物の生産・供給を進めるため、できるだけ農薬や化学肥料を使用しない環境に配慮した農業を促進します。

### ・市内農産物の直売の促進・「マルシェ ドウ 調布」等の開催

市内農産物のPR、地産地消の取組を促進するため、調布駅周辺で「マルシェ ドウ 調布」を開催し、農業を身近に感じる機会を創出します。

### ・都市農業を生かした食育の推進

農作物の生産から収穫までの過程や、農業の大切さを体感してもらう学童農園やふれあい体験農園を実施するほか、学校における取組として市内農産物を取り入れた学校給食の提供や消費者と生産者の交流を通じた食育の推進等、都市農業を生かした食育を促進します。

### ・多様な農業体験の場づくり

市民が農家の指導を受けながら、農作業を楽しむことができる農業体験ファームの拡充や、農作業を通じて自然に親しみながら生産の喜びを味わうことができる市民農園の確保等、市民が農業と触れあえる機会づくりを推進します。

### ・未来に残す東京の農地プロジェクトの推進

東京都が実施する「未来に残す東京の農地プロジェクト」を活用し、農地が持つ防災や環境保全など農地の多面的機能を一層向上させるための基盤整備等、農業者等が行う農地保全の取組や、農業者等が所有する宅地等を農地に創出する取組等を支援し、農地の保全・創出・多面的機能の発揮に向けた取組を推進します。

### ・都市農地の保全と多面的活用

都市農地を保全していくため、生産緑地制度や特定生産緑地制度の活用を促進するとともに、農業経営の支援や市民農園・農業体験ファーム等に取り組むことにより、都市農地の保全・活用に努めます。

### ・都市農地貸借円滑化法の活用の促進

生産緑地の貸し借りがしやすくなる「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」を活用し、生産緑地の貸借を促進することで、高齢化等により営農の継続が困難となった都市農地の保全に努めます。

## スポーツ振興課

### ・スポーツ施設の整備

市民が安全で快適にスポーツ施設を利用できるよう、公共施設マネジメント計画や各施設の利用実態、老朽化の状況などを踏まえ、施設の維持保全及び改修等を計画的に実施するとともに、市民ニーズを踏まえた安全で利便性の高いスポーツ施設の整備に努めます。

基地跡地運動広場や大町スポーツ施設等の改修工事等を実施し、利用環境の向上を図ります。令和5年度は、総合体育館のトップライト等改修工事、調布基地跡地運動広場のグラウンド整備や西町サッカー場へのシャワー設備設置を行うほか、総合体育館、調和小プールの使用区分の新設における利用環境の向上や、NEXCO中日本（中央道）耐震補強工事に伴う西調布体育館の代替機能の確保に向けた調査検討などを実施します。

### ・スポーツ推進計画の策定

東京2020大会等のレガシーの継承・定着を含め、令和4年度に実態調査した、市を取り巻く環境の変化などスポーツの推進に関わる現状と課題を踏まえ、スポーツを「する・みる・ささえる」の観点から、スポーツ基本法に基づくスポーツ振興を体系的に推進するため、（仮称）調布市スポーツ推進計画の策定に取り組みます。

### ・誰もがスポーツに参加できる機会の充実

より多くの市民が日頃からスポーツに触れ合う機会を提供できるよう、様々な主体と連携し、世代や能力に応じたスポーツを始めるためのきっかけづくりや、スポーツを「する・みる・ささえる」という観点から、スポーツ・レクリエーションに参加できる機会の充実を目指します。

● **東京2020大会等のレガシーの継承・発展**

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等を契機としたスポーツ振興施策を進める中で構築してきた、様々な主体との連携をより強化し、各団体の強みを生かした事業を展開するなど、様々な角度から市民スポーツの振興を図ります。とりわけ、パラリンピックを契機とした障害者スポーツの振興については、福祉分野との連携による「調布市障害者スポーツの振興における協議体」を活用した課題解決の取組の推進など、障害理解の促進や障害当事者の運動機会の創出を図り、共生社会の充実を目指します。

● **FC東京等様々な主体と連携したスポーツ振興等の推進**

FC東京が行う地域貢献活動を支援し、市民スポーツの振興、青少年の健全育成、文化、福祉、地域経済活性化等のまちづくりを協働で推進します。また、東芝ブレイブルーパス東京や東京サントリーサンゴリアスと連携したラグビー競技普及事業や、NTT東日本バドミントン部と連携したバドミントン競技普及事業等、それぞれの主体のノウハウを活用した事業展開を図り、市民スポーツの振興を推進します。

◆ **主要な事務事業と到達目標**

事業の名称と概要	年度末到達目標
<p>1 文化芸術事業の実施（文化生涯学習課）</p> <p>事業予算：11億9810万3000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>市民が文化芸術に触れる機会の確保と市民ニーズに応じた、音楽、演劇、映画などの鑑賞及び参加型の事業を実施します。文化芸術振興を通じて共生社会の充実につながるよう、引き続き、市内福祉作業所等で制作されたアート作品の展示を実施するほか、調布の特性や地域資源を生かしながら、年齢や国籍、障害の有無に関わらない、インクルーシブな視点から取組を実施します。また、市の文化芸術振興における総合的かつ計画的な推進を図るため、「（仮称）調布市文化芸術振興ビジョン」の策定に向けた基礎調査に取り組みます。</p> <p>安全に施設を利用していただくため、文化会館たづくり、グリーンホール及びせんがわ劇場の適切な維持保全のための施設整備を行います。</p> <p>各文化施設の特徴やコンセプトを生かした施設運営と3館の連携による効果的な事業の推進を図るとともに、引き続き、適切な維持保全、安全な施設運営、魅力ある事業展開を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設維持保全工事等を計画的に実施します。</li> <li>・グリーンホールについて、公民連携手法による事業化に向けた検討や、施設利用団体や市民と情報共有・意見交換を行い、引き続き、ホール機能や規模、配置等の検討に取り組みます。</li> <li>・文化芸術振興を通じて共生社会の充実につながるよう、年齢や国籍、障害の有無に関わらない、インクルーシブな視点から取組を実施します。</li> </ul>
<p>2 平和祈念施策・国際交流の推進（文化生涯学習課）</p> <p>事業予算：2827万1000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>中学生を市民の代表であるピースメッセンジャーとして広島へ派遣し、その学びを広く市民へ伝えるとともに、派遣事業に参加した子どもたちが、その学びや平和への想いを継続的に発信することができるよう、活躍の場づくりに取り組みます。また、より多くの調布の子どもたちが平和について関心を持つことができるよう、FC東京と連携した取組として、昨年度の派遣に引き続き、令和5年度は小学生をピースメッセンジャージュニアとしてFC東京のAウェイゲームにあわせて大阪・広島に派遣し、試合観戦後に戦争・平和について学びます。</p> <p>国際理解と国際交流の推進においては、多様な文化への理解を深め、市民の国際感覚の醸成にも寄与できるよう、国際交流協会との連携の下、外国人専門家相談会をはじめとする外国人支援事業及び各種国際</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平和派遣事業のほか、幅広い年齢層の市民に戦争・平和について考える機会を創出するため、平和展の開催など、関連団体と連携を図りながら、非核平和都市宣言40年の節目の年として各種平和祈念事業を実施します。</li> <li>・国際交流協会と連携し、外国人専門家相談会を実施するほか、「やさしい日本語」の活用促進を図るなど、国際理解につながる取</li> </ul>

<p>交流事業を継続して実施するほか、「やさしい日本語」の活用促進を図ります。</p>	<p>組を継続して実施します。</p>
<p><b>3 防犯対策・消費者安全対策の推進（文化生涯学習課）</b>  <b>事業予算：1498万4000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b>      市民が安心して消費生活を送ることができるよう、消費者トラブルの情報提供や消費生活相談員による消費者トラブルの解決に向けた支援を行います。      成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、若者への消費者教育の充実や、高齢者の消費者トラブルへの啓発等、若者から高齢者まで幅広い年代に向けて、様々な媒体・機会を活用しながら、適宜適切な情報提供に取り組みます。      また、複雑化・多様化する消費者トラブルに関する相談に適切に対応するため、各種研修を重ねながら相談員のより一層のレベルアップを図るとともに、社会環境の変化や消費者ニーズの把握に努めながら、消費者トラブルに対応することができるよう相談・支援の充実に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活相談員によるアウトリーチ事業（出前講座，出前授業）に積極的に取り組みます。</li> <li>・消費者庁長官から委嘱された調布市消費者啓発用キャラクター「チー坊」を活用し，消費者トラブルへの注意喚起を行います。</li> <li>・各年代に応じた消費者教育を推進します。</li> </ul>
<p><b>4 学習活動及びまちづくりへの参加の促進（文化生涯学習課）</b>  <b>事業予算：1651万3000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b>      専門のスタッフを配置している生涯学習情報コーナーでは、様々なニーズに応じて、大学や関連団体等と連携した各種取組について、適切な情報提供・相談支援を行っています。また、地域における各種イベント等と連携を図るなど、生涯学習情報コーナーの積極的なアウトリーチに取り組みます。      あわせて、“人生100年時代”を見据え、幅広い世代を対象とした生涯学習の振興に向けて、各分野の有識者などで構成する「調布市生涯学習推進協議会」からの答申を踏まえ、学びのきっかけづくりや学習機会の充実に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互友好協力協定を締結する大学による公開講座や，文化・コミュニティ振興財団による市民カレッジなど，多様な主体と連携した各種取組について，市報や市ホームページのほか，市公式LINE等のSNSを活用しながら，広く市民がそれぞれのニーズに応じた学習機会を確保することができるよう効果的な情報発信に取り組みます。</li> </ul>
<p><b>5 地域福祉センターの整備（協働推進課）</b>  <b>事業予算：1400万3000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b>      定期的な保守点検を通じて計画的な維持保全を進めるほか、AEDの外付設置や予約システムの導入により利用者の安全・快適性の向上を図ります。      また、バリアフリー化推進の取組の一環として、深大寺地域福祉センターのエレベーター設置工事に向けた設計を実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の安全・快適性を第一に考え，施設を維持管理するとともに，バリアフリー化などの機能改善を図ります。</li> </ul>

<p>6 ふじみ交流プラザの運営（コミュニティ機能）（協働推進課）</p> <p>事業予算：1972万9000円 &lt;基本計画事業 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>地域交流の促進や地域の賑わいの創出などに資する施設として、施設ロビー内にある地域の情報発信コーナーの有効活用等を促進し、地域コミュニティの活性化を図るとともに、活動の拠点として活用できるよう利便性を考慮した集会室の貸出管理を行います。</p> <p>また、利用状況や地域・利用者からの要望等を適宜把握し、安定した施設運営に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開設して2年目となる令和5年度は、利用状況や利用者のニーズ等を把握し、安定した施設運営を行うとともに、施設の利活用を促進します。</li> </ul>
<p>7 ふれあいの家の指定管理者の更新に向けた支援（協働推進課）</p> <p>事業予算：5140万4000円&lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>令和6年度からの指定管理期間更新に向けて、指定管理者候補者選定審査委員会を設置し、ふれあいの家の次期指定管理者を選定します。</p> <p>また、現在の指定管理者である、ふれあいの家運営委員会に対しては、運営上の課題等のヒアリングを行い、業務負担の軽減に向けた各種支援を行うほか、スマートロックの導入や防犯カメラの設置を進め、施設の機能向上を図っていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動の拠点として利用されているふれあいの家について、令和6年4月以降の次期指定管理者の指定を見据えた、運営方法の効率化に向けた取組を検討・実施します。</li> </ul>
<p>8 地区協議会の設立と支援（協働推進課）</p> <p>事業予算：935万3000円 &lt;<b>基本計画事業</b> 行革P その他&gt;</p> <p>地区協議会は、地域コミュニティの活性化を図り、地域の連帯感を高めるとともに、地域住民と市が地域の課題を共に考え解決していくために、地域住民が自主的に運営するネットワーク組織です。小学校区域をコミュニティエリアとして、令和4年度末までで、市内20小学校区のうち17地区に地区協議会が設立され、様々なまちづくり活動を展開しています。</p> <p>未設立地区3地区のうち、柏野小学校地区については、令和4年12月に自治会や学校関係団体、福祉関係等の各種団体によって立ち上げられた設立準備会の運営等、各種支援を推進していきます。また、柏野小学校を除く2地区についても、引き続き、設立に向けた機運醸成を図り、地域コミュニティの形成に取り組みます。</p> <p>また、既存の地区協議会に対しては、情報提供や活動費の助成等、活動支援を行うとともに、未設立地区を含めた全市的な情報共有体制の構築を目指す取組を推進し、市民同士のつながりによる地域活動を促進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未設立地区3地区（第二、深大寺、柏野）のうち、柏野小学校地区については、令和5年度中の設立に向けて、設立準備会の運営等を支援します。</li> <li>・柏野小学校を除く未設立2地区に対しては、引き続き地区協議会設立の機運が高まるよう更なる関係性の強化を図ります。</li> <li>・既設地区協議会に対しては、地域課題解決に向けたサポートを行うほか、未設立地区を含めた地域間の緊急時における情報共有体制の構築を目指します。</li> </ul>
<p>9 市民活動支援センターの運営（協働推進課）</p> <p>事業予算：2287万8000円 &lt;<b>基本計画事業</b> 行革P その他&gt;</p> <p>市民活動の中間支援組織として、社会福祉法人調布市社会福祉協議会と協働して、情報の収集・提供、各種相談、啓発事業、交流事業等を実施し、市民活動の活性化を図ります。</p> <p>また、えんがわフェスタ、今年度10回目を迎えるまち活フェスタ等のイベント開催においては、市民活動団体等と連携・協働した実施により市民参加を促進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントを地域活動や市民活動を担う新たな人材の発掘と交流の場となるよう実施し、地域活動への参加を促進し地域の活性化につなげます。</li> </ul>

<p>10 男女共同参画啓発・相談事業の実施</p> <p>(多様性社会・男女共同参画推進課)</p> <p>事業予算：1627万5000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>第5次調布市男女共同参画推進プランに基づき、男女共同参画社会の実現、人権の尊重と理解、DV防止の促進等に資する講座・講演会、市民との協働によるフォーラムなど各種啓発事業を行います。また、生きかた相談や法律相談、働く女性の人生相談などの女性のための相談事業に加え男性のための相談を実施するほか、女性活躍推進事業を実施します。各種相談については、あらゆる世代の方々が利用できるよう、保育付きで実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来所相談・電話相談の実施</li> <li>・グループ相談の実施</li> <li>・相談事業と連携した講座等の実施</li> </ul>
<p>11 雇用・就労の支援（産業振興課）</p> <p>事業予算：300万5000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>ハローワーク府中との連携事業として、「調布国領しごと情報広場」の運営に参画し、就職に関する相談や情報提供など、地域住民や事業所の求人・求職のニーズに対応した就労を支援します。</p> <p>また、ちょうふ若者サポートステーション事業を通して、働くことに悩みや不安を抱える若者の就労や自立を支援します。</p> <p>さらに、市報、市ホームページやツイッターなどのSNSを通じて、関係機関のセミナー、面接会などの雇用・就労情報を積極的に提供します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国、東京都等の関係機関や近隣自治体等と連携し、個々に応じた雇用・就労を支援します。</li> </ul>
<p>12 地域経済活性化の推進（産業振興課）</p> <p>事業予算：1億509万4000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>市内の実情を把握するための基礎調査の実施や、商工会や金融機関等との連携による市内事業者及び商店会へのヒアリングに取り組むことで、市内事業所の経営状況や市民の消費行動の把握に努め、社会情勢や地域経済対策会議での議論も踏まえながら、地域経済活性化の取組の指針となる（仮称）産業振興プランについて、令和6年度の策定に向けた取組を進めます。</p> <p>また、商工会の運営支援を通じて、市内事業者の支援に連携して取り組むほか、商店会のイベント事業や、商店街の環境整備を支援することで、調布のまちの魅力向上を図り、地域経済活性化を推進します。</p> <p>加えて、商工会、市内事業者、市内金融機関等で構成する地域経済対策会議を定期的開催し、市の実情を踏まえた施策の展開につなげていきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域経済の再活性化に向け、商工会、市内事業者、商店会等と連携した取組を推進します。</li> <li>・商店街の街路灯のLED化の支援や電気料金の負担軽減を実施し、商店街の環境整備を促進します。</li> <li>・地域経済活性化に向けた取組の指針となる「（仮称）産業振興プラン」の策定（令和6年度）を見据え、基礎調査を実施するとともに、地域経済対策会議の議論を下に、市の実情に即した施策の展開を図ります。</li> </ul>



<p><b>13 中小企業・小規模事業者の支援（産業振興課）</b></p> <p>事業予算：9174万9000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>地域経済活性化を図るため、中小企業事業資金融資あっせん制度を利用する市内の中小企業・小規模事業者や開業しようとする方に対して、事業者負担（信用保証料及び利子）を軽減します（令和2年度からの拡充内容を継続）。</p> <p>また、令和5年度は、物価高騰で影響を受ける市内事業者まで支援内容を拡充して取り組みます。加えて、国、東京都及び他自治体の動向を注視し、借換制度の導入についても、検討します。</p> <p>事業者が抱える課題解決に向け、包括協定を結んでいる金融機関と連携し、きめ細かな支援に取り組むとともに、事業者への経営サポートとして、事業所訪問のほか、創業支援や経営課題に関するセミナー等を開催します。</p> <p>また、商工会と連携し、多摩川流域自治体の基礎情報と業種別の企業情報が一体となった共通情報データベースを構築することで、技術提携・販路拡大や新たな創業の支援につなげます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、少しでも多くの事業者の事業継続が可能となるよう支援し、地域経済の再活性化を目指します。</li> </ul>
<p><b>14 産業労働支援センターによる創業の支援（産業振興課）</b></p> <p>事業予算：963万9000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>経営アドバイザーによる創業・経営などの相談事業、各種セミナーや講演会の開催、スモールオフィスの貸出し、空き店舗等を活用した創業チャレンジ支援事業など、市内での創業者の育成を図ります。</p> <p>また、訪問や電話に加え、オンライン相談を実施することで、よりきめ細かな経営アドバイスをを行い、中小企業・小規模事業者の経営を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談件数 550件</li> <li>・センター利用者による創業件数 30件</li> </ul>
<p><b>15 調布市観光協会事業の促進（産業振興課）</b></p> <p>事業予算：2673万5000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>ホームページ、フェイスブック、ツイッター、インスタグラム等を活用した調布のまちの魅力発信とともに、「水木マンガの生まれた街調布」や「映画のまち調布」の推進、古刹・深大寺を核とする観光事業、調布市観光ボランティアガイドの支援など、にぎわいの創出につながる調布ならではの特色あるイベント展開等を支援します。</p> <p>また、多言語版の調布市観光マップ等の改訂や調布駅周辺を中心とした飲食店等への公衆無線LAN整備の実施により、外国人旅行者等に調布の魅力・情報をより広く発信する取組を支援します。</p> <p>令和5年度は、調布駅前広場の無料公衆無線LAN（無料Wi-Fi）の撤去（広場の整備工事のため）費用についても支援します</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会と連携し、にぎわいの創出に向けた効果的な観光振興を推進することにより、地域経済の再活性化を図ります。</li> </ul>

<p>16 「映画のまち調布」の推進（産業振興課）</p> <p>事業予算：1052万7000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>映画・映像を「つくる」、「楽しむ」、「学ぶ」をテーマに、積極的なロケ支援や市民・団体等が実施する映画イベントの支援・協力、「高校生フィルムコンテスト」等の世代に合わせた事業や、シアタス調布のプレアド（映画上映前の広告）を活用したPR、「映画のまち調布 シネマフェスティバル」における体験型ワークショップなど、「映画のまち調布」ならではの取組を展開します。</p> <p>また、積極的なロケ支援の実施により、市内における撮影実績の増加につなげ、ロケツーリズムを推進することで、「映画のまち調布」のPRや地域経済の活性化を図ります</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く市民に“映画”に親しんでもらう機会を創出するとともに、映画・映像関連企業と連携した様々な取組により、「映画のまち調布」としての魅力の更なる向上を目指します。</li> </ul>
<p>17 「水木マンガの生まれた街 調布」の推進（産業振興課）</p> <p>事業予算：2750万8000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>名誉市民・水木しげる氏の作品や世界観を後世に伝えつつ、まちづくりに生かす取組について、（株）水木プロダクションをはじめとする関連企業等と連携して展開します。</p> <p>また、「水木しげる氏生誕100周年記念プロジェクト」を契機として、「水木マンガの生まれた街調布」の更なる推進につなげるため、新たな事業展開や水木氏の作品に触れる機会の創出に注力することで、子どもから大人まで幅広い世代に興味を持ってもらい、認知度向上による新たなファン層の獲得を図ります。</p> <p>加えて、令和3年度に、水木プロダクションから、市の所有地を活用した「（仮称）水木しげるミュージアム」の建設についての要望書が提出されたことを踏まえ、水木プロダクションをはじめとする多様な主体と連携しながら、水木作品を活用したまちづくりに向けて、深大寺老人憩の家跡地を活用した取組を検討・推進していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会と連携して「ゲゲゲ忌」を実施するとともに、「水木しげる氏生誕100周年記念プロジェクト」（期間：令和3年3月6日から令和6年3月7日）を契機として、「水木マンガの生まれた街調布」の更なる推進につなげていきます。</li> <li>・水木プロダクションをはじめとする多様な主体と連携しながら、水木作品を活用したまちづくりに向けて、深大寺老人憩の家跡地を活用した取組を検討・推進していきます。</li> </ul>
<p>18 調布市観光案内所（ぬくもりステーション）の機能移転（産業振興課）</p> <p>事業予算：295万9000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>調布駅前広場の整備に伴い、調布市観光案内所（ぬくもりステーション）の解体工事及び機能移転が必要となったことにより、令和5年7月（予定）から調布駅構内コンコースを借用し、観光案内所機能の継続を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内所機能が円滑に継続できるように取り組みます。</li> </ul>
<p>19 いきいきとした農業経営（農政課）</p> <p>事業予算：1760万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>認定農業者などの農業経営に意欲ある農業者が農業を継続できるよう、引き続き、都市農業育成対策事業による支援に加え、東京都が実施する「未来に残す東京の農地プロジェクト」の活用による農地の保全・活用に取り組むほか、同じく東京都が実施する「ハウス栽培における温室効果ガス排出削減事業」を活用し、ハウス栽培における化石燃料使用抑制の取組等を通して農業経営を支援します。</p> <p>市民ニーズの高い安全・安心な農産物の品質向上と供給を図るため、有機質肥料の支給による、環境保全型農業の促進などを通じて、農業者の取組を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度からスタートした農業振興計画の円滑な推進に努めます。</li> <li>・都が実施する「未来に残す東京の農地プロジェクト」を活用した、農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援します。</li> <li>・「都市農業育成対策事業」を活用した農業支援を実施します。</li> </ul>

<p>また、都が実施する「とうきょう援農ボランティア」の活用を促進し、農業経営の支援に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有機質肥料を支給し、環境保全型農業の促進を図ります。</li> <li>・都が実施する「とうきょう援農ボランティア」の活用を促進します。</li> <li>・都が実施する「ハウス栽培における温室効果ガス排出削減事業」を活用し、農業経営を支援します。</li> </ul>
<p><b>20 農のある地域づくり（農政課）</b></p> <p style="text-align: center;"><b>事業予算：1565万5000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>より多くの市民が市内で生産された新鮮で安全・安心な農産物を手に入りやすくするとともに、令和4年度に開催した「マルシェ ドゥ 調布」について年2回の開催を目指すなど、市内農産物の認知度向上を図り、市内農産物の直売をより一層推進します。</p> <p>また、市民が農家の指導を受けながら農作業を楽しむことができる農業体験ファームの支援や、農作業を通じて自然に親しみながら生産の喜びを味わうことができる市民農園の新規開設など、市民が農業に触れ合える機会づくりを推進します。</p> <p>さらに、農作物の生産から収穫までの過程や、農業の大切さを体感してもらう学童農園について、布田小学校・多摩川小学校・上ノ原小学校・第三小学校地域において継続して実施するとともに、ふれあい体験農園の実施など、都市農業を生かした食育を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業体験ファーム及び市民農園の確保に努めます。</li> <li>・JAマインズや市内事業者等と連携した「マルシェ ドゥ 調布」の開催等を通じ、市内農産物の直売を促進します。</li> <li>・都市農業を生かした食育を推進します。</li> <li>・市民ふれあい体験農園や学童農園を実施し、都市農業への理解促進を図ります。</li> </ul>
<p><b>21 農地の保全・活用（農政課）</b></p> <p style="text-align: center;"><b>事業予算：2131万1000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</b></p> <p>東京都が実施する「未来に残す東京の農地プロジェクト」を活用し、農地が持つ防災や環境保全など農地の多面的機能を一層向上させるための基盤整備等、農業者等が行う農地保全の取組や、農業者等が所有する宅地等を農地に創出する取組等を支援し、農地の保全・創出・多面的機能の発揮に向けた取組を推進します。</p> <p>また、都市農地を保全していくため、JAマインズと連携し、都市農地の貸借の円滑化に関する法律の活用を促進するほか、生産緑地地区制度及び特定生産緑地地区制度の活用を促進するとともに、農業経営の支援や市民農園・農業体験ファーム等に取り組むことにより、都市農地の保全・活用に努めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JAマインズと連携し、都市農地貸借円滑化法を活用した農地の貸し借りを促進し、農地の保全・活用に努めます。</li> <li>・都が実施する「未来に残す東京の農地プロジェクト」を活用した、農地の保全・活用の取組を通して農業経営を支援します。</li> </ul>

<p>22 スポーツ施設の整備（スポーツ振興課）</p> <p>事業予算：2億7642万2000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>※ 令和4年度予算から1億5940万2000円繰越</p> <p>公共施設マネジメント計画や各施設の利用実態、老朽化の状況などを踏まえ、市民が安全で快適にスポーツ施設を利用できるよう、施設の維持保全及び改修等を計画的に行います。</p> <p>総合体育館屋内プールのトップライト等改修工事については、可能な限り早期のプール再開を目指し、令和4年度予算の繰越明許費で対応します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調布市総合体育館屋内プールのトップライト等改修工事（総合体育館プール改修工事、総合体育館監視カメラシステム更新工事）※令和4年度予算繰越明許</li> <li>・基地跡地運動広場施設整備工事（グラウンド改修工事等）</li> <li>・総合体育館整備工事（非常照明用蓄電池整流器交換等）</li> <li>・深大寺テニスコート整備（防球ネット改修工事）</li> <li>・西町サッカー場整備（シャワー設備の設置）</li> <li>・西調布体育館代替機能確保に向けた調査検討</li> <li>・施設の老朽化に伴う修繕等</li> </ul>
<p>23 スポーツ推進計画の策定（スポーツ振興課）</p> <p>事業予算：524万3000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>東京2020大会等のレガシーの継承・定着を含め、令和4年度に実態調査した、市を取り巻く環境の変化などスポーツの推進に関わる現状と課題を踏まえ、スポーツを「する・みる・ささえる」の観点から、スポーツ基本法に基づくスポーツ振興を体系的に推進するため、（仮称）調布市スポーツ推進計画の策定に取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度に実施した市民のスポーツ活動に関する実態調査などの基礎調査の結果を踏まえ、スポーツ推進計画を策定します。</li> </ul>
<p>24 東京2020大会等のレガシーの継承・発展（スポーツ振興課）</p> <p>事業予算：980万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等を契機としたスポーツ振興施策を進める中で構築してきた、様々な主体との連携をより強化し、各団体の強みを活用した事業を展開するなど、様々な角度から市民スポーツの振興を図ります。とりわけ、パラリンピックを契機とした障害者スポーツの振興については、福祉分野との連携による「調布市障害者スポーツの振興における協議体」を活用した課題解決の取組の推進など、障害理解の促進や障害当事者の運動機会の創出を図り、共生社会の充実を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調布市スポーツ協会をはじめとした関係団体や競技団体と連携し、ジュニア陸上体験教室、障害者スポーツ体験会、応援アスリート事業、ラグビーワールドカップパブリックビューイング等の事業を実施します。</li> <li>・教育委員会と連携し、子ども達へのスポーツ振興事業を実施します。</li> <li>・東京都29市町村と連携したボッチャ大会、府中市・三鷹市と連携したラグビー事業等、他自治体と連携した地域のスポーツ振興に取り組みます。</li> <li>・調布市障害者スポーツの振興にお</li> </ul>

	<p>ける協議体の活用や障害者スポーツ体験会の開催を通じて、誰もがスポーツに親しむ機会の創出を図ります。</p>
<p>25 FC東京等様々な主体と連携したスポーツ振興等の推進(スポーツ振興課)</p> <p>事業予算：280万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>FC東京が行う地域貢献活動を支援し、市民スポーツの振興、青少年の健全育成、文化、福祉、地域経済活性化等のまちづくりを協働で推進します。また、東芝ブレイブルーパス東京や東京サントリーサンゴリアス、NTT東日本バドミントン部と連携した各競技普及事業等、それぞれの主体のノウハウを活用した事業展開を図り、市民スポーツの振興を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもサッカー体験教室等FC東京の地域貢献活動を支援します。</li> <li>・青赤ストリートをはじめとしたFC東京との連携事業の更なる発展・充実を図り、FC東京を応援することで市内のスポーツ機運を醸成します。</li> <li>・FC東京の株主であるホームタウン6市の連携を強化し、地域全体のスポーツ振興を図ります。</li> <li>・東芝ブレイブルーパス東京や東京サントリーサンゴリアス、NTT東日本バドミントン部と連携した事業を推進します。</li> <li>・市内スポーツ団体との連携を図ります。</li> </ul>